



学びの ページ

「国宝」

秋の大祭や支部の感謝会などでお聞きする尊者の御声「五法則」の最後に、次の言葉があります。

「天地宇宙の法則は、忠に孝、仁義礼。これ大日本国民の神代時代以来の国宝であります」

簡単に言い換えると、「天地宇宙の法則は、忠孝仁義礼である。この五常は、日本国民にとって遙か昔からの国宝なのである」という意味です。

国宝とは、白鷺城の名で知られる「姫路城」や日本最古の漫画と称される「鳥獸戯画」、様々の建築物や美術品など文化史的に極めて価値が高く、類い無いものであると国が認めた「日本の宝」です。金剛さまは、五常が日本の国宝であるとおっしゃられたのでしょ。

金剛さまの示された「五常」とは、人として常に守るべき五つの徳目です。神を敬う心で相手と誠実に向き合つ「忠」、親・先祖を尊び、そのお蔭で報いようとする「孝」、相手を尊重し思いやる「仁」、自分の果たすべきことを率先して果たそうとする「義」、そして「礼」はすべてに對して感謝報恩の真心を具体的な形（行動）で表すことです。「五常」は連綿と受け継がれてきた日本の伝統精神です。これを生活の中で心がけ実践する人こそ、金剛さまが理想とされた人間のあり方であり、まさに日本のお宝なのです。

そして、この「五常」を実践されているのが天皇皇后両陛下はじめ御皇室の方々です。日々神を敬い祖先を尊ばれ（忠孝）、ひとたび国内で災害が起これば、被災地へ駆けつけて現地の人々に寄り添われるお姿は、ひたすら國民を想うご慈愛（仁）を感じます。

◎ご皇室を手本に、私たちでみる五常の実践例を考えてみましょう。

理想の生き方として金剛さまが示された「五常」を実践すれば、必ず家族や友人、社会から喜ばれます。自らの価値を高めるためにも、日頃から「五常」を心にいた行動や判断を心がけていきましょう。